

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本6月鉱工業生産)

2019/7/30

りそなホールディングス 市場企画部

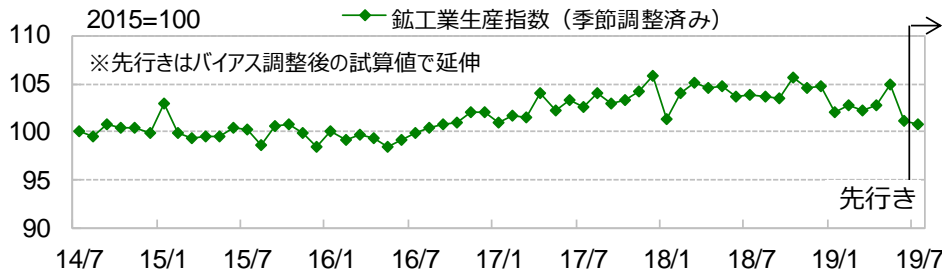


〇概況

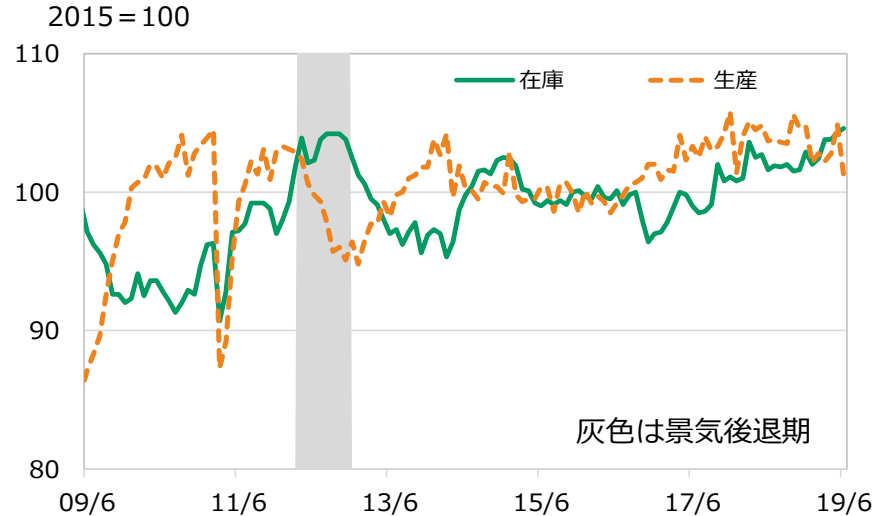
- ◆ 6月鉱工業生産、前月比▲3.6%と3か月ぶりに低下
- ◆ 基調判断は「一進一退」と据え置き
- ◆ 生産予測調査を踏まえると今後も弱含み局面が続く見通し

- ✓ 6月の鉱工業生産は前月比▲3.6%と、3か月ぶりに低下。出荷は▲3.3%と低下、在庫は+0.3%と上昇。また、出荷に対する在庫の割合である在庫率は+2.8%と上昇。5月に生産は大きく回復したものの6月は再び弱い内容、5月の回復には10連休によるかく乱要因も一部にあったことが示唆される。
- ✓ 基調判断は前月の「一進一退」から据え置き。
- ✓ 生産の業種別では、15業種中13業種が低下。自動車(▲8.8%)、生産用機械(▲6.9%)、金属製品(▲4.9%)などが低下。自動車や生産用機械は先月上昇した反動も一部にはあるとみられる。
- ✓ 出荷の業種別では、15業種中11業種が低下。電気・情報通信機械(▲9.4%)、自動車(▲9.4%)、生産用機械(▲6.5%)などが低下。
- ✓ 在庫の業種別では、15業種中7業種が上昇。石油・石炭製品(+8.3%)、電気・情報通信機械(+4.3%)、無機・有機化学(+3.0%)などが上昇。
- ✓ 予測調査では7月+2.7%、8月+0.6%の見通し。ただし予測調査には上方バイアスがあり、経済産業省によるバイアス調整した先行き試算値は7月▲0.3%となる。企業は増産を見込んでおらず、生産の弱含み局面が今後も続くことが想定される。

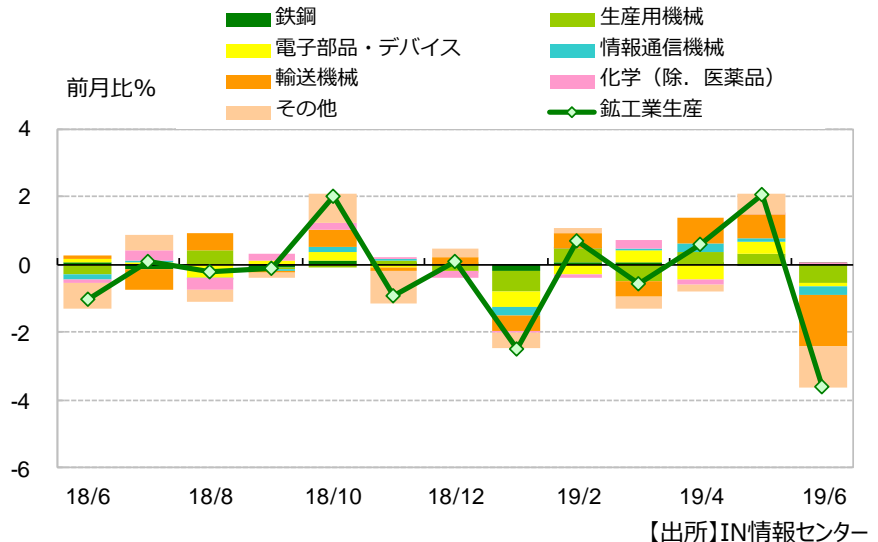
【鉱工業生産(指数)】



【生産と在庫の推移】



【鉱工業生産(寄与度)】



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。